

第127回 岐阜市管内景況調査報告書(平成24年1～3月期)

【調査要領】

- 1 対象期間 平成24年1～3月、平成24年4～6月期の見通し(平成24年3月1日時点の調査)
- 2 調査方法 岐阜商工会議所経営支援員の実訪による
- 3 調査対象 岐阜市内の中小企業106社(回答数99社、回収率 93.40%)
- 4 D I 値 景気動向を現す景気早見表(「増加・好転」－「減少・悪化」)

管内景況の概要(業種全体)

今期(平成24年1～3月期)の管内中小企業の景況を見ると、在庫DIのマイナス幅が拡大したが、他すべての項目はマイナス幅が減少し改善した。

来期(平成24年4～6月期)の景況予想は、在庫判断DIと資金繰りDIのマイナス幅がやや拡大するが、従業員を除く他すべての項目のマイナス幅が縮小する見通し。

全業種

(前年同期比)

	業況判断	売上額	在庫	経常利益	資金繰り	従業員
23年 1～3 実績	△ 43.2	△ 51.8	△ 33.3	△ 51.9	△ 33.7	△ 13.4
4～6 実績	△ 63.5	△ 65.9	△ 40.4	△ 64.9	△ 50.0	△ 3.0
7～9 実績	△ 52.6	△ 50.6	△ 33.4	△ 59.3	△ 45.5	△ 1.5
10～12 実績	△ 56.0	△ 46.3	△ 24.0	△ 59.0	△ 40.8	△ 6.3
24年 1～3 実績	△ 43.2	△ 43.5	△ 32.8	△ 53.1	△ 37.9	△ 6.1
24年 4～6 予想	△ 39.4	△ 37.4	△ 34.4	△ 40.6	△ 42.5	△ 6.1

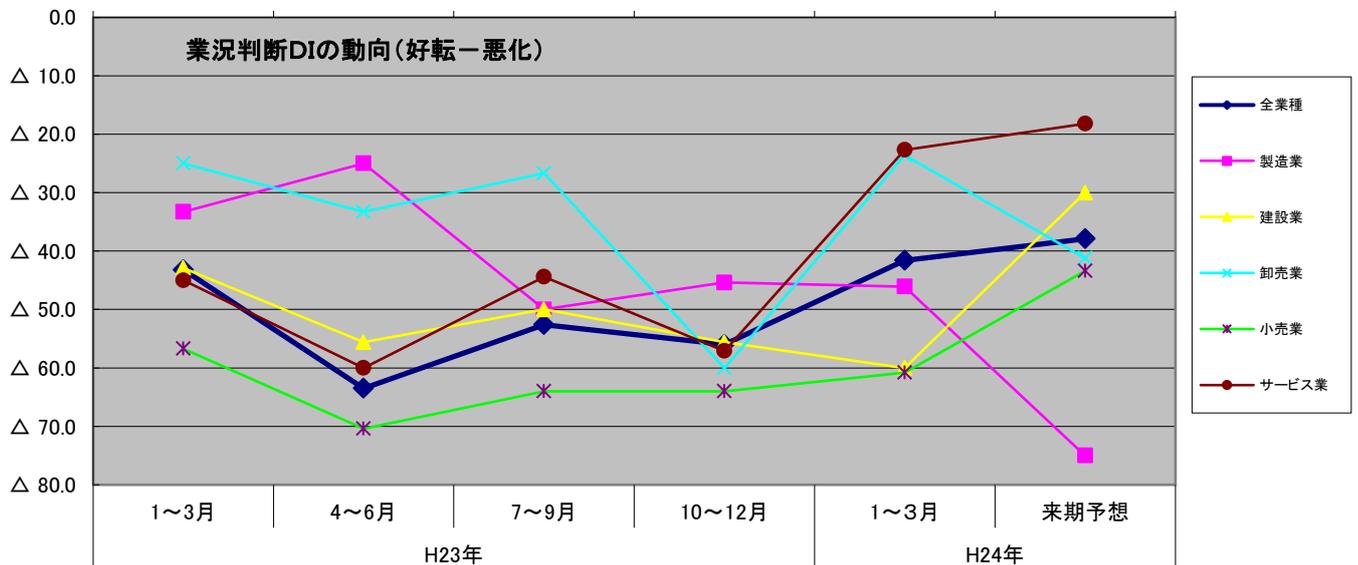
1. 業況

全業種のDI値は、△43.2と前期(△56.0)に比べると12.8ポイントマイナス幅が減少した。来期も、今期より改善すると予想される。

業種別にみると、製造業・建設業で悪化した。来期は製造業・卸売業で悪化するが、他業種では改善する見通し。

業況判断DI(「好転」－「悪化」)	H23年				H24年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	来期予想
全業種	△ 43.2	△ 63.5	△ 52.6	△ 56.0	△ 43.2	△ 39.4
製造業	△ 33.3	△ 25.0	△ 50.0	△ 45.4	△ 46.1	△ 75.0
建設業	△ 42.9	△ 55.6	△ 50.0	△ 55.6	△ 60.0	△ 30.0
卸売業	△ 25.0	△ 33.3	△ 26.7	△ 60.0	△ 23.6	△ 41.2
小売業	△ 56.7	△ 70.4	△ 64.0	△ 64.0	△ 60.8	△ 43.4
サービス業	△ 45.0	△ 60.0	△ 44.4	△ 57.1	△ 28.5	△ 23.8

(前年同期比)



2. 売上(加工)額

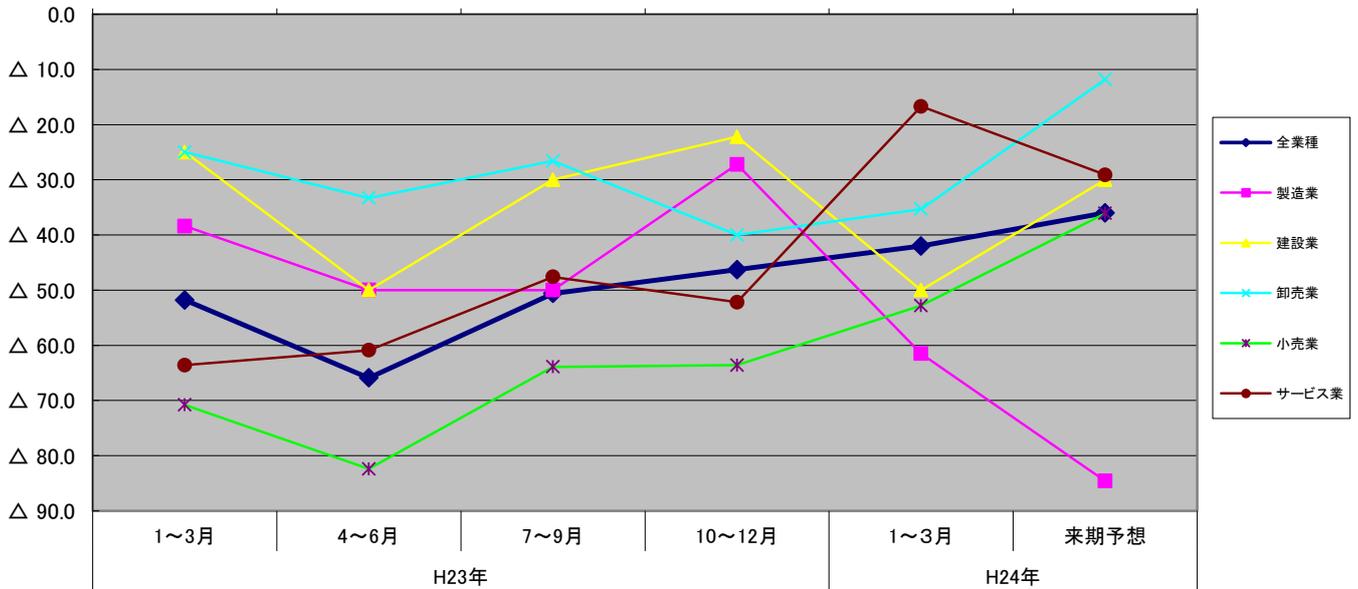
全業種のDI値は、△43.5と前期(△46.3)と2.8ポイントマイナス幅が縮小し改善した。来期も改善する見込み。

業種別では、サービス業で大幅にマイナス幅が縮小し改善したが、来期は製造業が大幅に悪化する見通し。

	売上額DI(「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H23年				H24年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	来期予想
全業種	△ 51.8	△ 65.9	△ 50.6	△ 46.3	△ 43.5	△ 37.4
製造業	△ 38.4	△ 50.0	△ 50.0	△ 27.2	△ 61.5	△ 84.6
建設業	△ 25.0	△ 50.0	△ 30.0	△ 22.2	△ 50.0	△ 30.0
卸売業	△ 25.0	△ 33.3	△ 26.6	△ 40.0	△ 35.3	△ 11.8
小売業	△ 70.8	△ 82.4	△ 63.9	△ 63.6	△ 52.8	△ 36.1
サービス業	△ 63.6	△ 60.9	△ 47.6	△ 52.2	△ 21.7	△ 34.8

売上額DIの動向(「増加」-「減少」)

(前年同期比)



3. 採算(経常利益)

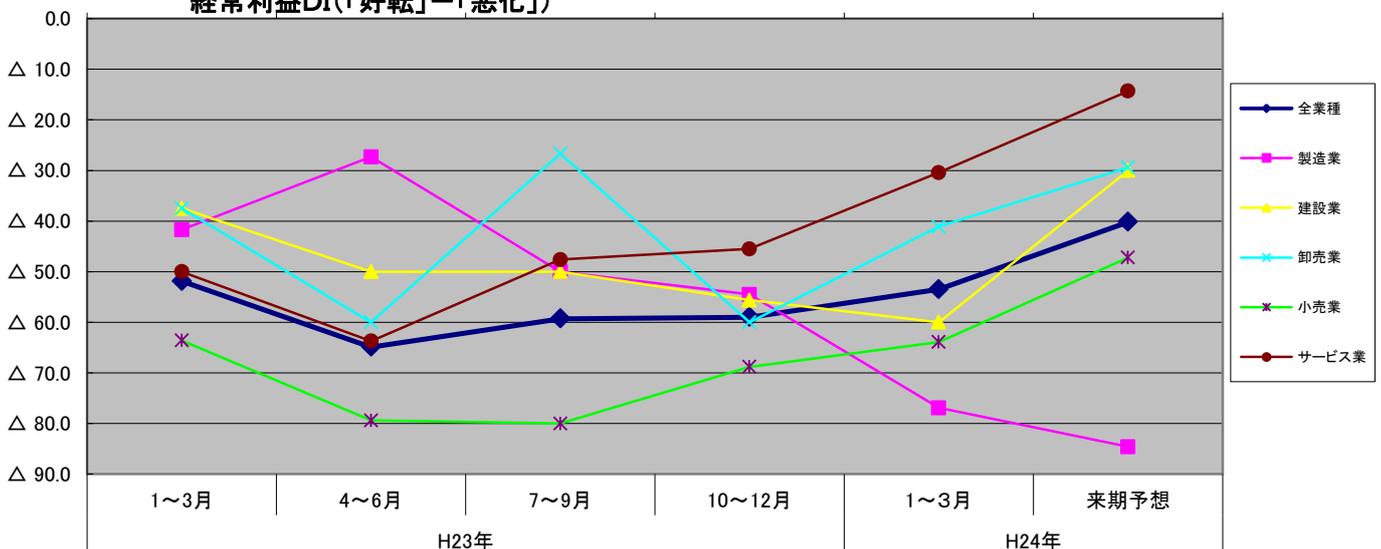
全業種のDI値は、△53.5と前期(△59.0)に比べ5.5ポイントマイナス幅が縮小した。来期も引き続き改善すると予想される。

業種別では、製造業で大幅にマイナス幅が拡大し悪化した。来期も製造業のみ改善の見込みはなく悪化する見通し。

	経常利益DI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H23年				H24年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	来期予想
全業種	△ 51.9	△ 64.9	△ 59.3	△ 59.0	△ 53.5	△ 40.2
製造業	△ 41.7	△ 27.3	△ 50.0	△ 54.5	△ 76.9	△ 84.6
建設業	△ 37.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 55.6	△ 60.0	△ 30.0
卸売業	△ 37.5	△ 60.0	△ 26.7	△ 60.0	△ 41.1	△ 29.4
小売業	△ 63.6	△ 79.4	△ 80.0	△ 68.8	△ 63.9	△ 47.2
サービス業	△ 50.0	△ 63.7	△ 47.6	△ 45.5	△ 30.4	△ 14.3

経常利益DI(「好転」-「悪化」)

(前年同期比)

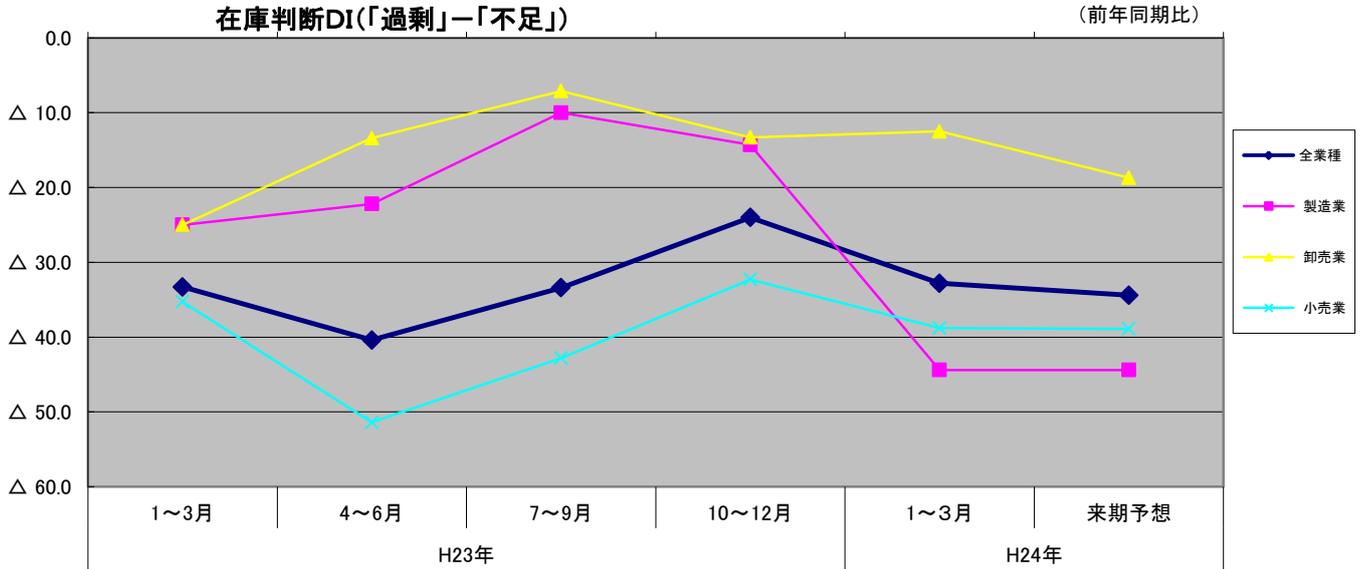


4. 製品・商品の在庫

全業種の DI 値は、△32.8と前期(△24.0)に比べマイナス幅が8.8ポイント拡大した。来期も、今期よりマイナス幅が拡大すると予想される。

業種別では、卸売業において改善しているが、来期ではマイナス幅が拡大する見通し。

	在庫判断DI (「過剰」-「不足」)				(前年同期比)	
	H23年				H24年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	来期予想
全業種	△ 33.3	△ 40.4	△ 33.4	△ 24.0	△ 32.8	△ 34.4
製造業	△ 25.0	△ 22.2	△ 10.0	△ 14.3	△ 44.4	△ 44.4
卸売業	△ 25.0	△ 13.4	△ 7.1	△ 13.3	△ 12.5	△ 18.7
小売業	△ 35.3	△ 51.4	△ 42.8	△ 32.3	△ 38.8	△ 38.9

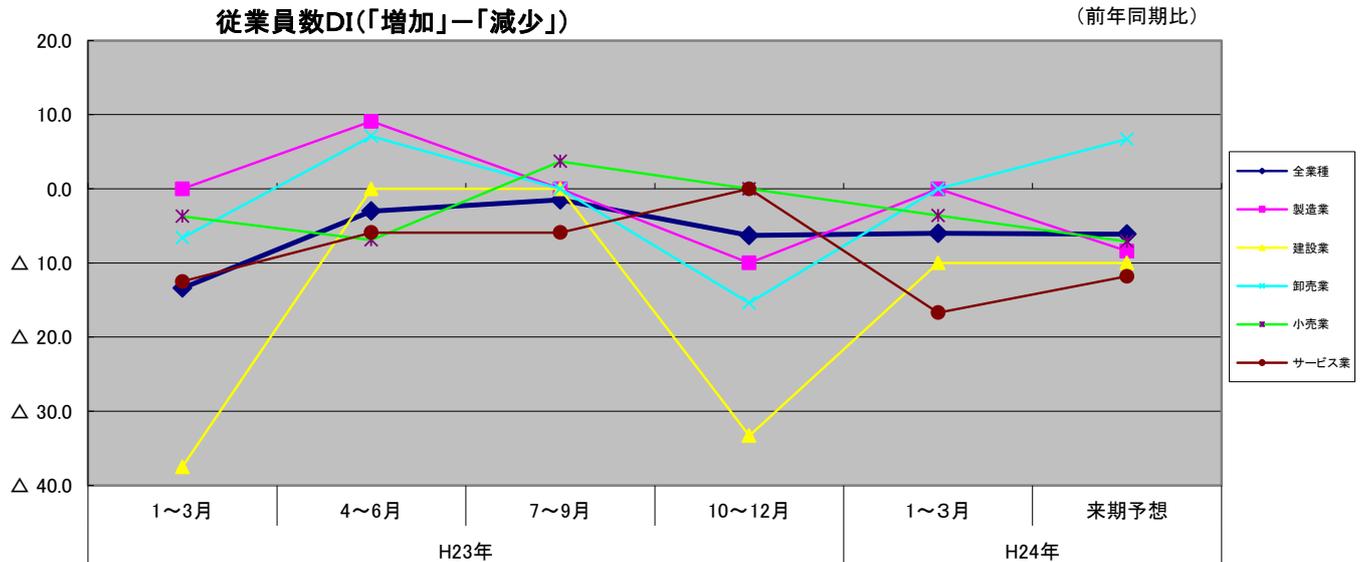


5. 従業員数 (臨時・パート含む)

全業種の DI 値は、△6.0と前期(△6.3)に比べマイナス0.3ポイントとなり、それほど変化はなかった。

業種別では、サービス業で減少幅が拡大した。来期は卸売業でプラスに転じる見通し。

	従業員数DI (「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H23年				H24年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	来期予想
全業種	△ 13.4	△ 3.0	△ 1.5	△ 6.3	△ 6.0	△ 6.1
製造業	0.0	9.1	0.0	△ 10.0	0.0	△ 8.4
建設業	△ 37.5	0.0	0.0	△ 33.3	△ 10.0	△ 10.0
卸売業	△ 6.6	7.1	0.0	△ 15.4	0.0	6.7
小売業	△ 3.7	△ 6.9	3.7	0.0	△ 3.6	△ 7.1
サービス業	△ 12.5	△ 5.9	△ 5.9	0.0	△ 16.7	△ 11.8

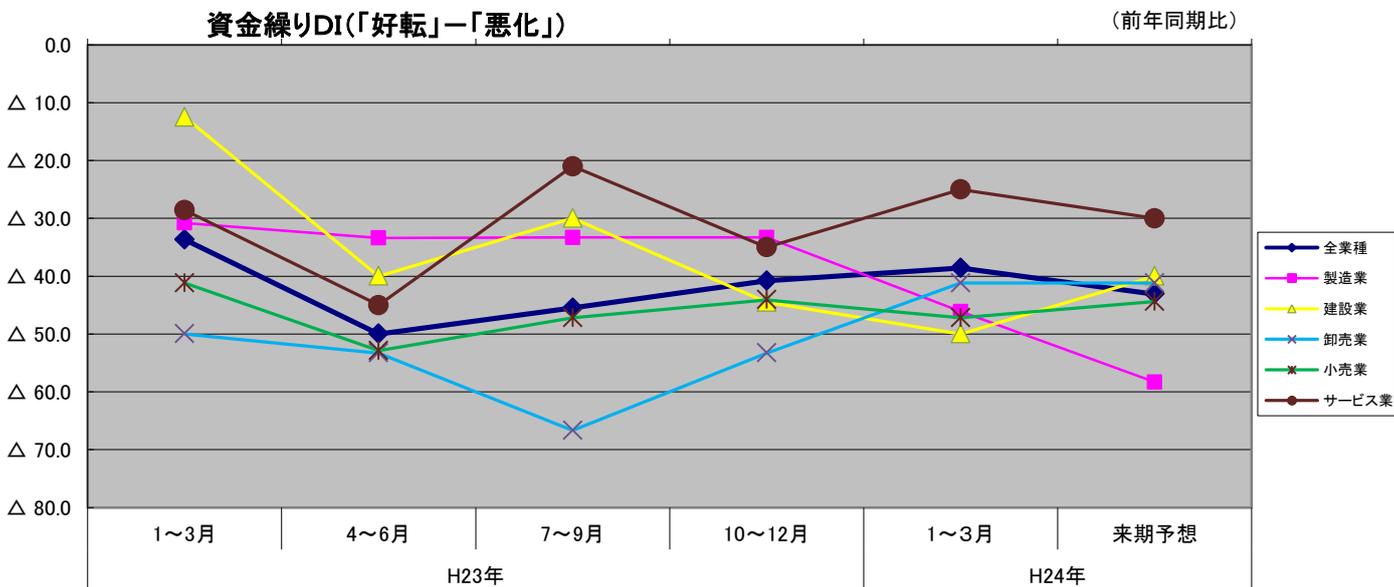


6. 資金繰り

全業種のDI値は、△38.6と前期(△40.8)に比べ2.2ポイントマイナス幅が縮小した。来期は、やや悪化する見通し。

業種別では卸売業、サービス業において大幅にマイナス幅が縮小し改善がみられたが、製造業では悪化し来期も製造業は厳しい状況が続く見通し。

資金繰りDI(「好転」-「悪化」)	H23年				H24年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	来期予想
全業種	△33.7	△50.0	△45.5	△40.8	△38.6	△43.1
製造業	△30.8	△33.4	△33.3	△33.3	△46.1	△58.3
建設業	△12.5	△40.0	△30.0	△44.5	△50.0	△40.0
卸売業	△50.0	△53.3	△66.7	△53.3	△41.2	△41.2
小売業	△41.2	△52.9	△47.2	△44.1	△47.2	△44.4
サービス業	△28.6	△45.0	△21.0	△35.0	△25.0	△30.0



7. 経営上の問題点

前回の調査と比較して、建設業・卸売業・サービス業で「需要の停滞」が上位に問題点として挙げられ依然として厳しい経済情勢が続いていることが浮き彫りになっている。製造業に関しては、原材料価格の上昇と同様、製品単価の上昇難が上位を占めており、東日本大震災をはじめ、国内外の災害が多く、現地工場の被災などによることが関係しているものと思われる。

	今期直面している経営上の問題点				
	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
製造業	原材料価格の上昇	製品単価の上昇難	需要の停滞	製品ニーズの変化	生産設備の不足老朽化
	25.8	25.8	19.4	6.5	6.5
建設業	民間需要の停滞	請負単価の低下・上昇難	取引条件の悪化	材料価格の上昇	材料の入手難
	26.7	16.7	13.3	6.7	6.7
卸売業	需要の停滞	販売単価の低下・上昇難	仕入単価の上昇	事業資金の借入難	店舗・倉庫の老朽化
	28.9	17.8	15.6	8.9	4.4
小売業	消費者ニーズの変化	購買力他地域への流出	需要の停滞	販売単価の低下・上昇難	大企業進出競争の激化
	19.8	16.5	15.4	14.3	8.8
サービス業	需要の停滞	利用者ニーズの変化	利用料金の低下・上昇難	新規参入業者の増加	人件以外経費増加
	24.5	22.5	10.2	8.2	8.2

